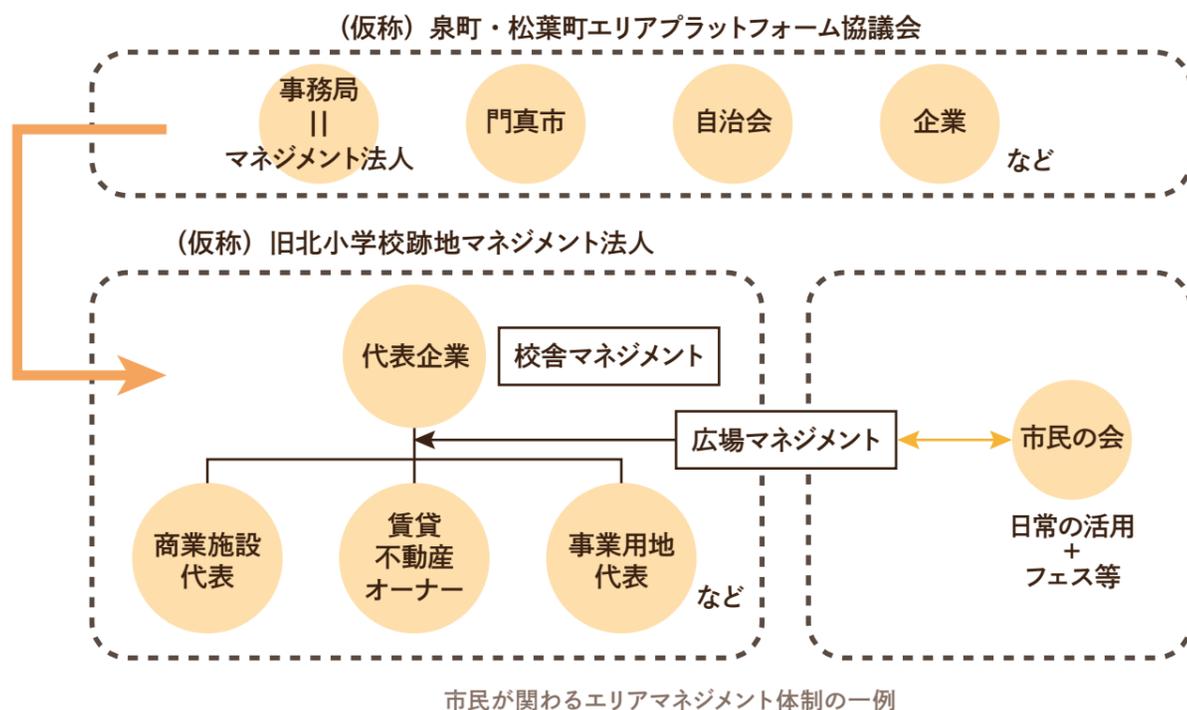


エリアプラットフォーム

今後、旧北小学校跡地及びその周辺地区の活用について、  
以下のような体制で進めていきたいと思ひます。協力者募集中です。



# 未来づくりワークショップ



## 旧北小学校跡地活用のプレビジョン 検討、最終回!!

会場・門真市役所本館2階大会議室

令和5(2023)年7月29日(土)、門真市役所で「旧門真市立北小学校跡地未来づくりワークショップ」の最終回となる第7回目を開催しました。旧北小学校跡地活用の将来像(プレビジョン)を検討する最後の機会です。参加者のみなさんと忌憚なく議論するため、会場のしつらえも工夫しました。最初にこれまでの流れをおさらいして、その後プレビジョンの説明をおこないました。そこからは参加者のみなさん一人一人にこれまでの感想、そしてプレビジョンを聞いて思うところを話していただきました。ひとまずひと段落ですが、今後も旧北小学校跡地の活用は継続していきます。ぜひご協力をよろしくお願いいたします。



スケジュール

そしてこのようなスケジュールで進めていきたいと思ひます。

	R4年度	R5年度	R6年度以降	
うごき	◇フェス ◇日常的な活用 ・暫定利用 ・完成後日常利用	●キタショウカーニバル ●キタショウフェスティバル	→ 暫定利用	→ 日常利用
しくみ	◇ワークショップ ◇エリアプラットフォーム準備会 ◇本会	→ WS ●プレビジョン策定	→ 準備	→ 供用開始 → 本会
かたち	◇耐震診断 ◇解体工事(校舎の一部) ◇道路・公園工事	→ 実施	→ 実施	→ 実施

これまでのご協力、どうもありがとうございました!  
引き続きよろしくお願いいたします!

門真市 HP



## 将来イメージと コンセプト

未来づくりワークショップの中で対象エリアをどんなまちにしたいかアイデアをいただいた結果、「広場(イベント・スポーツ)」「まちづくり・暮らし(住まい・歴史文化・緑)」「防災・安全」「教育・子育て」「サービス・商業」のキーワードが出てきました。ここから6つのコンセプトを作成し、前回ワークショップでいただいた「日常」についてのアイデアをもとに、以下を整理しました。

### コンセプト：暮らしがつながるまちづくり

職・住のバランスがよく安全安心にリニューアルを遂げ次世代へ

#### 歩きたくなるまち

必要な道路整備を実施しながらも、従来のまちなみと融合させることでヒューマンスケールの景観変化を楽しめる、緑あふれるまち



まちなかに緑が溢れる、歩きたくなるまちづくり



ローカルな雰囲気を持つ、空き家をリノベーションしたカフェなど行ってみたいところがある



フェスの内容が日常的に実施されている

#### 産官学民様々な主体が チャレンジできるまち

企業、学生、市民などの立場に関わらず、チャレンジしてみたいことがある人が気軽にチャレンジできるまち



仲間づくりができ、仲間と活動できる



自分の活動や趣味を応援してくれる仲間と出会うことができる



小学校校舎を活用した事業展開がされている

#### 人とつながるまち

人との直接の交流だけでなく、お互いがゆるやかにつながり、このまちが自分の居場所だと感じられるまち



様々な人が思い思いに過ごせる



学びの場所になっている(大学の活動拠点、地域の人からの学び)



日常的な買い物や日常に必要な活動ができる

#### 文化をひきつぐまち

まちづくりによって地域の風景が失われることなく、地域のこれまでの歴史や良さが残された、地域の歴史が積み重ねられていくまち



属性に関わらず多様な人と交流することができる、また特定のコミュニティで集まることできる



ローカル性や北小学校らしさが残っている



日常的に小規模な販売、展示が行える

#### 子育てしやすく住みたくなるまち

子どもがのびのびと暮らせる、子どもも子育てをする親も暮らしやすく住みたくなるまち



子どもが農業体験できる



子どもが自由に遊べる空間がある



子どもが自主的に学べる

#### 安心して暮らせるまち

防災性能が確保されており、災害時は逃げ込める場所がある、安心して暮らせるまち



災害などの緊急時は広場等に逃げ込める



住みながら働く

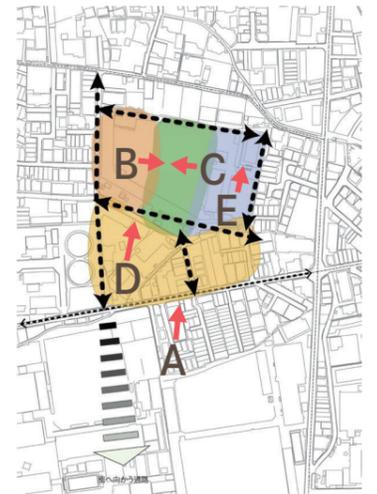


夜間でも、安心して活用できる場所

## イメージパース

前回ワークショップで提示したゾーニングと、日常のイメージをもとに、以下のようなパースを作成し、ご参加いただいたみなさんに見ていただきました。みなさんからは、「キタショウフェスティバルで自分が関わったプログラムがパースに現れていて嬉しい」「校舎内部を暫定利用できるなら一緒に進めたい」「このまちならではの校舎の残し方が必要」「周辺との連携が必要」などのご意見をいただきました。

ワークショップや活用実験を重ねて進めてきた成果を、参加者のみなさんとポジティブに議論することができました。



パース A~E は上図に対応

A

俯瞰パーススケッチ(南側上空より)



B

広場の風景(旧校舎側)



C

西側公園のイメージ



D

低層住宅・コモンスペース



E

旧校舎東側広場空間の様子

